

**受け付けは11月から順次開始
保育施設などの入所申込み**

くっちゃん保育所ぬくぬくおよび各認定こども園の令和7年度入所申込みが始まります。

くっちゃん保育所ぬくぬく・認定こども園（保育部分）

■保育の必要性／次のいずれかに該当すること

- ①保護者が就労している
- ②母親が妊娠中または出産後間もない
- ③保護者が病氣中または障害がある
- ④同居または長期入院などを行っている親族の介護や看護をしている
- ⑤災害復旧にあたっている
- ⑥求職活動をしている
- ⑦就学または職業訓練中である
- ⑧虐待やDVの恐れがある
- ⑨育児休暇取得中にすでに保育を利用している子どもの継続利用が必要である

- 申込受付期間／11月5日(火)～29日(金)
※継続入所申込は11月1日(金)～15日(金)まで
- 対象年齢、受付場所／右表のとおり
- 新規入所申込書などの配布／役場こども支援係および各認定こども園で配布中
- ☎こども未来課こども支援係 ☎55 - 6116

新規・転所入所申込（こども未来課こども支援係で受付）

対象年齢 (令和7年4月1日時点)	対象施設
0～2歳 保育の必要性あり	くっちゃん保育所ぬくぬく 認定こども園 倶知安幼稚園（保育部分）
3～5歳 保育の必要性あり	認定こども園 倶知安幼稚園（保育部分） 認定こども園 藤幼稚園（保育部分） 認定こども園 めぐみ幼稚園（保育部分）

【新規】令和7年4月1日からの保育を新規で申し込む方
【転所】現時点で保育を受けており、現在の施設からの転所を申し込む方

継続入所申込（各利用施設で受付）

対象年齢 (令和7年4月1日時点)	対象施設
1～2歳	くっちゃん保育所ぬくぬく 認定こども園 倶知安幼稚園（保育部分）
3～5歳	認定こども園 倶知安幼稚園（保育部分） 認定こども園 藤幼稚園（保育部分） 認定こども園 めぐみ幼稚園（保育部分）

【継続】現時点で保育を受けており、現在の施設の利用を継続して申し込む方

認定こども園（教育部分）※令和7年4月入園

- 入園願書配布／各園で配布中
- 願書受付／11月6日(水)14時から各園で
- ☎認定こども園 倶知安幼稚園 ☎22 - 1354
- ☎認定こども園 藤幼稚園 ☎22 - 1733
- ☎認定こども園 めぐみ幼稚園 ☎22 - 1276



Kutchan ID+

**11月から事前登録を開始
デジタル町民証明サービスが始まります！**



Kutchan ID+
のサイトは
こちら

町民の利便性向上と効率的な行政サービス提供を目指した「デジタル町民証明サービス『Kutchan ID+（プラス）』」が始まります。

本サービスは、スマートフォン上にデジタル町民証明を表示し、町内店舗での町民確認やサービス提供を、より迅速かつ簡便にすることを目的としており、11月1日(金)から利用の事前登録を開始します。

登録・利用方法（登録にはマイナンバーカードが必要）

- ①デジタル庁「デジタル認証アプリ」をダウンロードします
- ②Kutchan ID+ に登録します
- ③デジタル認証アプリでマイナンバーカードを認証します
- ④デジタル町民証明が発行されます
- ⑤参画店舗などで提示し、町民サービスが受けられます



アプリダウンロード
はこちら

**雪が積もってしまう前に
ホームタンクの点検を！**

近年、ホームタンクの老朽化、積雪・落雪の影響により家庭や事業所に設置されているホームタンクから油漏れ事故が多く発生しています。

油漏れ事故が発生すると火災の危険や水質・土壌汚染を引き起こす可能性があるため、土の入れ替えや河川にオイルフェンスの設置など措置を行わなければならない、その費用は原因者の負担となる場合もあります。



雪が積もる前に、次のことなどを確認し、油漏れ事故を未然に防ぎましょう。

- タンクの配管などに亀裂や老朽化が無い
- 屋根からの落雪でタンクが壊れる危険は無い
- 万が一、油漏れが発生したら倶知安消防署および町環境対策室へすぐに連絡をしてください。
- ☎倶知安消防署（油に関する相談） ☎22 - 1089
（油が漏れた場合） ☎119
- ☎住民環境課環境対策室 ☎56 - 8008

**もっと町を知るために町にある施設を訪れる
町内施設見学会を実施しました**

町民に町への関心や理解を深め、これからのまちづくりに興味を持ってもらうことを目的に、町内施設見学会が10月10日(木)に開催されました。

当日は、16名の参加者が『パークハイアットニセコ HANAZONO』で、宿泊部屋や宿泊者以外でも利用可能なサービスなどについて、『ニセコ環境株式会社のごみ処理施設』では、リサイクルを行うための処理や分別されなかったごみの処理など、各施設の担当者から説明を受け、施設内を見学しました。

参加者は、「丁寧に案内してもらえて、初めて知ることも多かった」、「分別は一層気を付けていきたい」と感想を話しました。



刈り取った稲は、すぐに収穫用のコンバインにて脱穀され、児童たちは「これがお米になるの？」と「穀をむいたらどうなるの？」と興味深々に質問を投げかけていました。

収穫されたコメは、農高で精米された後、西小に贈られ、5年生の家庭科の授業で、自分たちでお米を炊いておいしく食べました。



10月9日(水)、倶知安農業高校と西小学校5年生による『水田交流』が行われました。今年度二回目の開催で、一回目は6月に田植えを行っていました。

児童は、安全な鎌の使い方を学んだ後、穂が垂れた稲を生徒に見守られながら、ひと株ずつ真剣に刈り取っていました。



**農高と西小の水田交流
一緒に植えた稲収穫**

その後は、研修の参加者が「訪れた町それぞれに特色があって、しっかりとブランディングされたまちづくりが行われていた」、「観光客に笑顔で手を振るなど、どこの町でも温かく迎えてくれて感動した」などと、スイス研修で感じたことを約30名の参加者に向けて報告しました。

今年7月にスイスの国際リゾート地を訪問し、先進事例の視察や現地研修を行った『令和6年度町民海外研修事業』の訪問団による報告会が、10月2日(水)に倶知安風土館で開催されました。

報告会では、姉妹都市提携60周年を記念して行われたサンモリッツとの記念行事の様子や、スイスの観光や環境、交通に関する取り組みについて、町担当者が写真や動画で紹介をしました。



**スイス研修の成果
訪問団から報告**